

2023

6.7 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_Bni1u38QQQamgKX32smeuQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

軽くて強い、安くて美しい： 日本とアジアにおける建築デザインの実践

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

建築

デザイン

社会実装

アジア

岩元 真明 助教

九州大学 芸術工学研究院 環境設計部門

九州大学大学院芸術工学研究院助教、建築家。1982年東京都生まれ。2006年シュトゥットガルト大学 ILEK 研究員。2008年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。難波和彦+界 工作舎 スタッフ、Vo Trong Nghia Architects パートナーを経て、2015年 ICADA を共同設立。2015年首都大学東京特任助教、2016年より現職。博士(工学)。アジア近現代建築史に取り組み、ヴァン・モリヴァンと葉祥栄の作家論研究を行っている。建築作品に《節穴の家》《TRIAXIS 須磨海岸》《九州大学バイオフィードラボ》《オーゼティック・パビリオン》等。訳書にロベルト・ガルジャーニ著『レム・コールハース／OMA 驚異の構築』(鹿島出版会)。日本建築設計学会 architects of the year (2018)、日本空間デザイン賞金賞・銅賞(2019)、ウッドデザイン賞優秀賞 林野庁長官賞(2021)、福岡県木造・木質化建築賞優秀賞(2023)、iF Design Award (2023) など受賞多数。

少ない材料を使って大きな空間をつくりたい。安い材料を使って美しい空間をつくりたい。地場の材料と技術を使って循環可能なシステムをつくりたい。岩元真明研究室では、このような関心から日々、研究、設計、社会実装を行っています。本セミナーでは「節穴の家」(2017, ADAN architects of the year)、「TRIAXIS 須磨海岸」(2018, 日本空間デザイン賞金賞)、「九州大学バイオフィードラボ」(2019, 日本空間デザイン賞銅賞)、「オーゼティック・パビリオン」(2022, iF Design Award) 等の作品を解説し、日本とアジアにおける岩元研究室の実践を紹介します。